1

所在地			
用途	戸建住宅	竣工時期	不明（未登記）
構造	木造	指導時期	平成２６年１２月
階数	平屋建	延べ面積	９９．１㎡
判断材料	外壁の脱落、屋根ふき材の脱落、柱・基礎の腐朽		
指導に至った経緯	建物全体が倒壊することが予想できる状況にあり、倒壊した場合、両隣の建物（住宅）に影響を及ぼす可能性があった。		
指導内容	所有者（県内市外在住）に対し条例に基づく指導書を送付。 改善指摘事項　①外壁の脱落②屋根ふき材の脱落③柱・基礎の腐朽		
指導後の状況	平成２７年１月末の指導期限までに所有者による措置はされず。同年６月、所有者に面会し状況改善のお願いをしたところ、自分で解体作業を始めた。その後、同年７月２０日に崩壊。崩壊後、所有者によって敷地内に建材が押し込まれたが、撤去には至らず。		

指導前

指導後（平成 27 年 6 月）

崩壊直後（平成 27 年 7 月）

平成 27 年 11 月現在

2

所在地			
用途	戸建住宅	竣工時期	昭和１７年頃
構造	木造	指導時期	平成２６年１２月
階数	地上２階建	延べ面積	１７８．７㎡
判断材料	外壁の脱落、屋根ふき材の脱落、柱・基礎の腐朽		
指導に至った経緯	屋根や外壁の脱落および建物１階部分がつぶれることが予想でき、倒壊した場合、前面道路およびその向かいの建物（住宅）に影響を及ぼす可能性があった。なお、所有者は約１０年前に死亡。		
指導内容	建物は未相続であり、相続人（二男、県内市外在住）に対し条例に基づく指導書を送付。 改善指摘事項　①外壁の脱落②屋根ふき材の脱落③柱・基礎の腐朽		
指導後の状況	平成２７年１月末の指導期限までに相続人による措置はされず。 指導期限直前に相続人から連絡があり、自身は相続放棄しており関係がないと主張される。現在も解体・修繕等の措置はされていない。		

3

所在地			
用途	戸建住宅	竣工時期	不明（未登記）
構造	木造	指導時期	平成２６年１２月
階数	地上２階建	延べ面積	７４．６㎡
判断材料	屋根・外壁の崩壊、柱の腐朽		
指導に至った経緯	建物全体が倒壊することが予想できる状況にあり、倒壊した場合、前面道路およびその向かいの建物（住宅）に影響を及ぼす可能性があった。なお、所有者は現地に住民票をおいているが長期入院中とのことで現地に居住の実態がない。		
指導内容	親族（妻、市内在住）に対し条例に基づく指導書を送付。 改善指摘事項　①屋根・外壁の崩壊　②柱の腐朽		
指導後の状況	平成２７年１月末の指導期限までに親族による措置はされず。 現在も解体・修繕等の措置はされていない。		

4

所在地			
用途	戸建住宅	竣工時期	不明（登記あり）
構造	木造	指導時期	平成２７年８月
階数	平屋建	延べ面積	６９．４㎡
判断材料	外壁の脱落、屋根ふき材の脱落		
指導に至った経緯	屋根材や外壁材が脱落することが予想できる状況にあり、脱落した場合、前面道路をふさぐ等、近隣住民の生活道路に影響を及ぼす可能性があった。		
指導内容	所有者（県内市外在住）に対し条例に基づく指導書を送付。 改善指摘事項　①屋根・外壁材の　②柱の腐朽		
指導後の状況	平成２７年９月１５日の指導期限までに所有者による措置はされず。所有者が高齢のため、同月下旬、親族（娘、県内市外在住）に連絡し状況改善のお願いをしたところ、承諾はされたものの現在も解体・修繕等の措置はされていない。		

5

所在地			
用途	戸建住宅	竣工時期	不明（登記あり）
構造	木造	指導時期	平成２７年８月
階数	地上２階建	延べ面積	８９．２㎡
判断材料	外壁の脱落、屋根ふき材の脱落、樹木の繁茂		
指導に至った経緯	樹木が繁茂して前面道路（市道）にはみ出し、電線にかかっている。また屋根材や外壁材が脱落することが予想され、これらが原因で前面道路の通行の妨げになり、近隣住民の生活道路に影響を及ぼす可能性があった。		
指導内容	所有者（県外在住）に対し条例に基づく指導書を送付。 改善指摘事項　①屋根・外壁の崩壊　②樹木の繁茂		
指導後の状況	平成２７年９月１５日の指導期限までに所有者による措置はされず。現在も解体・修繕・樹木の伐採等の措置はされていない。		